

問う

代表・一般質問を平成22年9月24日・27日・28日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各会派を代表する10名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

これまでの区政を検証し、 足立のさらなる充実を



自由民主党

加藤 和明 議員

厳しい財政運営にどのような見通しを持っているのか

【問】福祉を中心とした需要が増加する一方、財政調整交付金の大幅な減収が見込まれる状況である。今後の財政運営の見通しと財源対策を伺う。

【区長】財政調整基金等を活用した財源対策のみでは限界があるため、経営改革プランに基づく既存事業の見直しを徹底的に行い、捻出した財源を主要施策に重点的に配分する等、事業の選択と集中を一層強化していく。

また、財政調整交付金見直しの意見を上げるとともに、社会保障制度については国の負担のあり方について見直しを行うよう、強く国に働きかけていく。
中長期的には、シテイプロモーション活動で担税力のある世帯の流入を図るとともに、教育や産業振興分野等、区民の力を支える施策に力を入れていく。

区制80周年事業を契機に未来への展開を構築せよ

【問】2年後の区制80周年事業をどのような体制で迎えるのか。また、区制80周年の意義及び今回のテーマについて伺う。



【総務】ワーストワン脱却には、

区民の方をはじめ、足立区総ぐるみの取り組みが不可欠である。10月、11月に実施する「秋の美化キャンペーン」等を通して、ビューティフル・ウィンドウズ運動を一大区民運動に発展させていく。
地域住民の不安を区一丸となって取り除け

【問】入谷九丁目のオウム関連施設建設は許しがたい行動である。現在の改修工事の状況と、地元住民との今後の対応を伺う。

【総務】改修工事は6月15日より1ヶ月半ほど中断していたが、残念ながら8月上旬に再開した。区は住民協議会の全面的支援とともに、アレフ進出を断固阻止する決意である。施設への都市ガス引き込みに伴う道路占用の不許可を一例に、区の許認可権等を最大限活用し、法的措置を含めた対策を講じていく。

待機児童解消に向けた当面の対応は

【問】8月に示された「保育需要の現状と待機児童解消に向けた当面の対応」の中で、民間集合住宅建設時の保育園設置誘致の要請が示されている。200戸以上の民間住宅建設の際に事前協議を行う仕組みを導入するといふものだが、区内で200戸以上の建設はあまり例がないと、我が党は委員会で指摘した。この数値目標の見直しについて、検討状況はどうなっているのか。

また、実効性の担保はどうするのか。

【子ども】指摘をふまえ、戸数を100戸以上の集合住宅に変更することとした。

また、保育課との協議の義務

付けに加え、小規模保育室や家庭福祉員の実施する保育室に関する規定を設けて、実効性を高める工夫をした。

若年層に健診機会を提供せよ

【問】区は35歳を対象とした若年者健康診査を開始したが、受診者の約8割に生活習慣病の心配が大きいことがわかった。今後、さらに若い世代への健診を進めていくべきだがどうか。

行っているへドロのしゅんせつと試験通水の効果はどうだったか。また、しゅんせつは今年度で終了と聞けが、来年度以降、圪川の環境整備についての目標をどのように考えているのか。

【都市建設】延べ9千100㎡のへドロ除去で完了の予定である。また、平日ほぼ毎日の通水実施により、以前より悪臭が減り、水質が向上した。

今後は、小溜井排水場の酸素供給装置等の運転と通水との効果的な運用方法の検討を踏まえ、まず綾瀬川と同程度の水質環境基準を目指していく。

地域主権に基づく教育の実現を

【問】教育に関する諸権限については、可能な限り学校設置者である区市町村への権限委譲が必要不可欠と思うがどうか。

【教委長】子どもたちの学力向上、生活規律、公共心の育成等の課題に即応するためにも、教育に関する諸権限を委譲し、「権限」と「責任」の一体化を図ることが大変重要と考える。

【問】平成20年度から圪川で

規制緩和による従来型特別養護老人ホームの建設を

【問】特別養護老人ホームの個室化・ユニット化は、待機者が多い都市部の実情に合っていない。規制を緩和し、従来型を建

設すべきだがどうか。

【問】日本の出生率は、年々減少している。特に23区では、1割を割り込む現状である。総合的な対策について見解を問う。

【子ども】少子化の課題は一つの自治体のみでは解決できないが、区では本年3月に子ども子育ての視点から「第2期あだち次世代育成支援行動計画」を策定し、子ども支援と子育て支援に関して15の施策群を設けて取り組んでいる。待機児童対策やワーク・ライフ・バランスの推進とともに、雇用対策等関連機関との連携を進めて、「子育てなら足立区」といわれる環境づくりに努めていく。

子宮頸がんワクチン接種への助成を実現せよ

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。

【衛生】子宮頸がんワクチン接種は、子宮頸がんの発病予防に有効であると認識している。区として、ワクチン接種費用助成について、実現に向け検討していく。

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。

【衛生】子宮頸がんワクチン接種は、子宮頸がんの発病予防に有効であると認識している。区として、ワクチン接種費用助成について、実現に向け検討していく。

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。

【衛生】子宮頸がんワクチン接種は、子宮頸がんの発病予防に有効であると認識している。区として、ワクチン接種費用助成について、実現に向け検討していく。

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。



自由民主党

白石 正輝 議員

福祉・衛生の充実を！

規制緩和による従来型特別養護老人ホームの建設を

【問】特別養護老人ホームの個室化・ユニット化は、待機者が多い都市部の実情に合っていない。規制を緩和し、従来型を建

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。

【衛生】子宮頸がんワクチン接種は、子宮頸がんの発病予防に有効であると認識している。区として、ワクチン接種費用助成について、実現に向け検討していく。

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。

【衛生】子宮頸がんワクチン接種は、子宮頸がんの発病予防に有効であると認識している。区として、ワクチン接種費用助成について、実現に向け検討していく。

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。

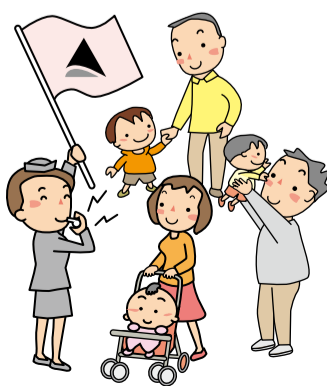
【衛生】子宮頸がんワクチン接種は、子宮頸がんの発病予防に有効であると認識している。区として、ワクチン接種費用助成について、実現に向け検討していく。

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。

【衛生】子宮頸がんワクチン接種は、子宮頸がんの発病予防に有効であると認識している。区として、ワクチン接種費用助成について、実現に向け検討していく。

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。

【衛生】子宮頸がんワクチン接種は、子宮頸がんの発病予防に有効であると認識している。区として、ワクチン接種費用助成について、実現に向け検討していく。



子宮頸がんワクチン接種への助成を実現せよ

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。

【衛生】子宮頸がんワクチン接種は、子宮頸がんの発病予防に有効であると認識している。区として、ワクチン接種費用助成について、実現に向け検討していく。

【問】女性特有のがんである子宮頸がん予防の決め手として、各地方自治体がHPVワクチン接種についての補助金を予算化、または検討を始めたこと聞いている。少子化対策の上からも子宮頸がん撲滅は急務である。来年度予算に向けて、区はどう考えているのか。

【衛生】子宮頸がんワクチン接種は、子宮頸がんの発病予防に有効であると認識している。区として、ワクチン接種費用助成について、実現に向け検討していく。